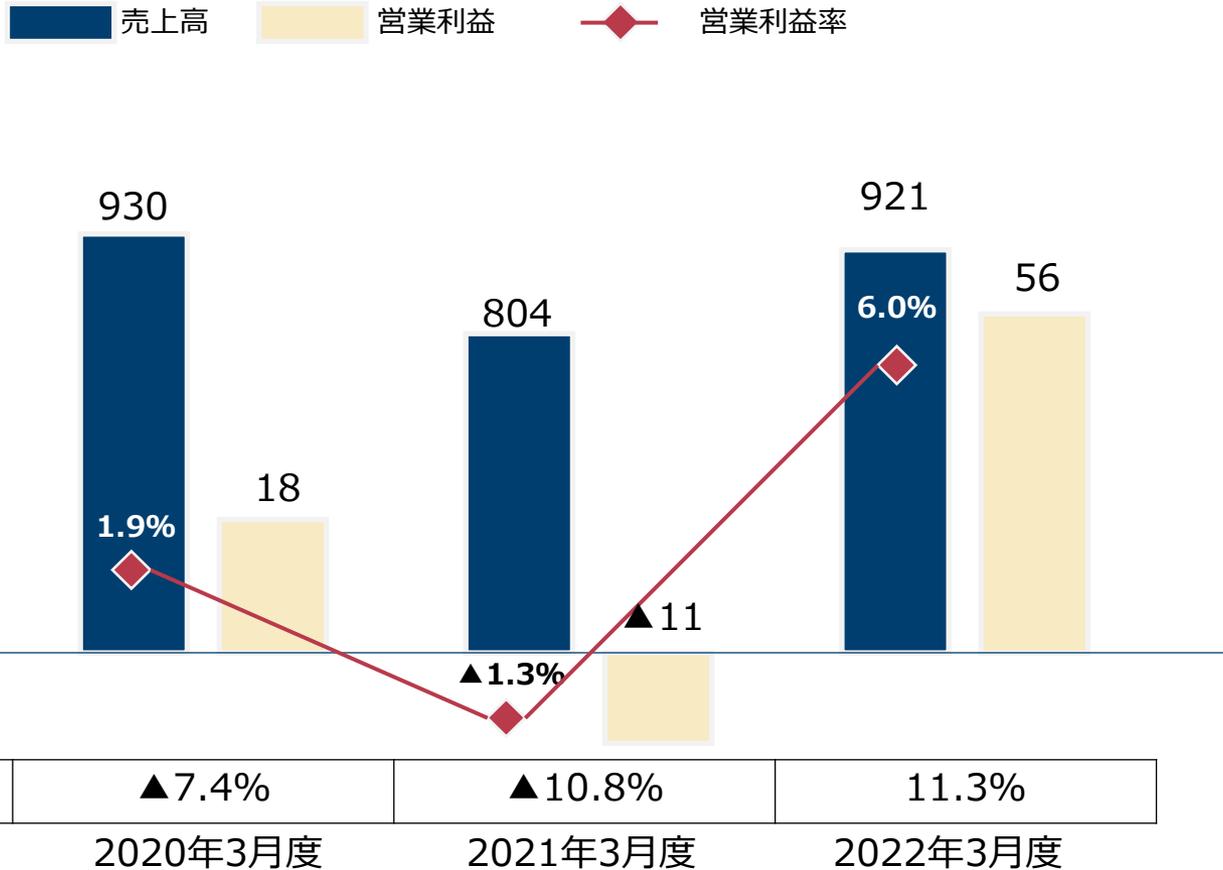


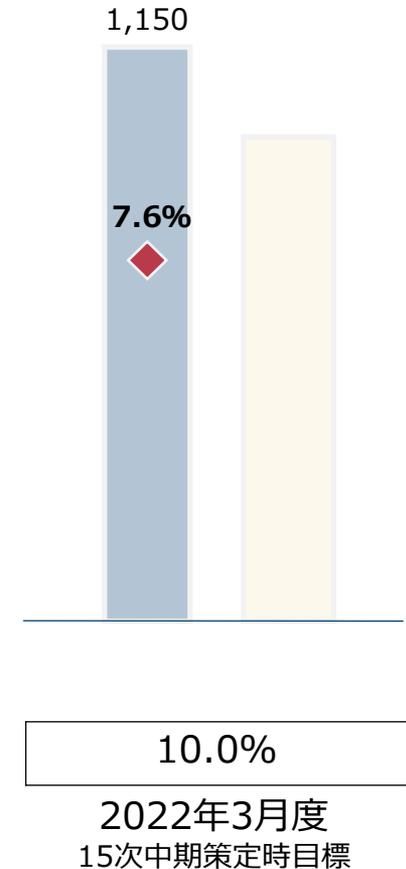
長期ビジョン2030 第16次中期経営計画

第15次中期経営計画 総括

第15次中計振り返り



単位：億円（億円未満四捨五入）



- ◆ 米中貿易摩擦、新型コロナウイルス感染症など外部環境悪化。
- ◆ 中計期間中に事業構造改革を実施し、事業の立て直しを図る。
- ◆ 事業構造改革効果および市況の復調により業績は好転するも、売上高、営業利益率は、当初目標値まで挽回しきれず。

第15次中計 経営方針

持続的成長に向けた製品戦略の加速

成果

- ・インド二輪市場で新規顧客獲得。
- ・全社事業構造改革で収益力向上。

主力製品の競争力強化

課題

- ・デバイス事業収益力の更なる向上。クリーンルームの統合やウェーハインチアップなど。

伸長事業の発展

- ・xEV向け新製品搭載決定。
- ・国内初の大出力EV急速充電器リリース。

- ・パワーモジュール製品の高付加価値製品の創出と収益力の強化。

10年先を見据えた次世代製品への取り組み

- ・外部アライアンスを活用した次世代デバイスの開発。
- ・非接触充電の開発。
- ・FPD部（次世代製品開発）設立。

- ・次世代デバイスの適用機種拡大と量産化。
- ・社外リソース活用による開発スピード強化。

方向性は継続させる

次期中計へ

長期ビジョン 2030

長期ビジョン2030

「革新的な技術によって、地球環境に配慮した先進的なソリューションを生み出して、持続可能な社会に貢献し、あらゆるステークホルダーから必要とされ続けるパワーエレクトロニクスカンパニー」

既存事業・
製品の拡充

製品
ポートフォリオの
最適化

新規事業・
製品の創出

パワーデバイス製品

脱炭素社会のキーパーツとなるパワーデバイスを創出する

モビリティ製品

ヒトと環境の未来を託されるモビリティソリューションを創出する

環境・エネルギー製品

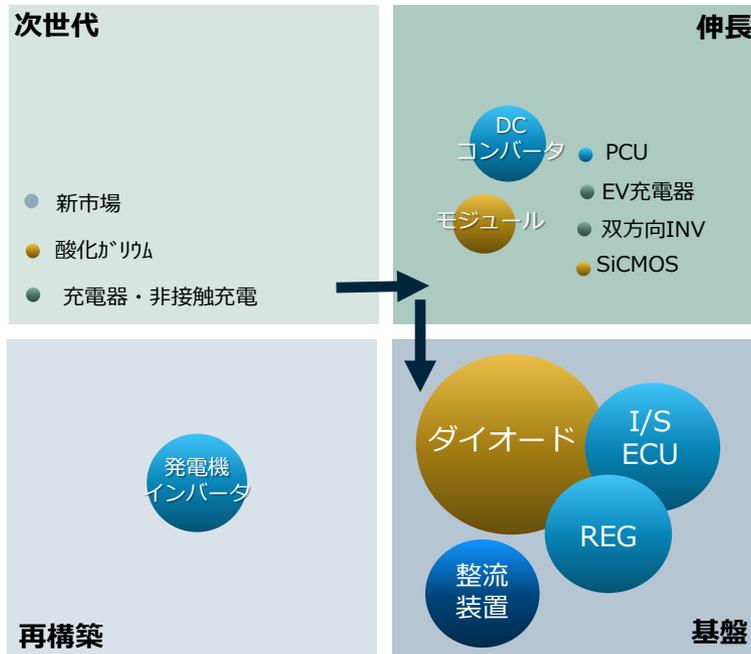
全事業のコア技術を融合したソリューションを創出する

次世代製品

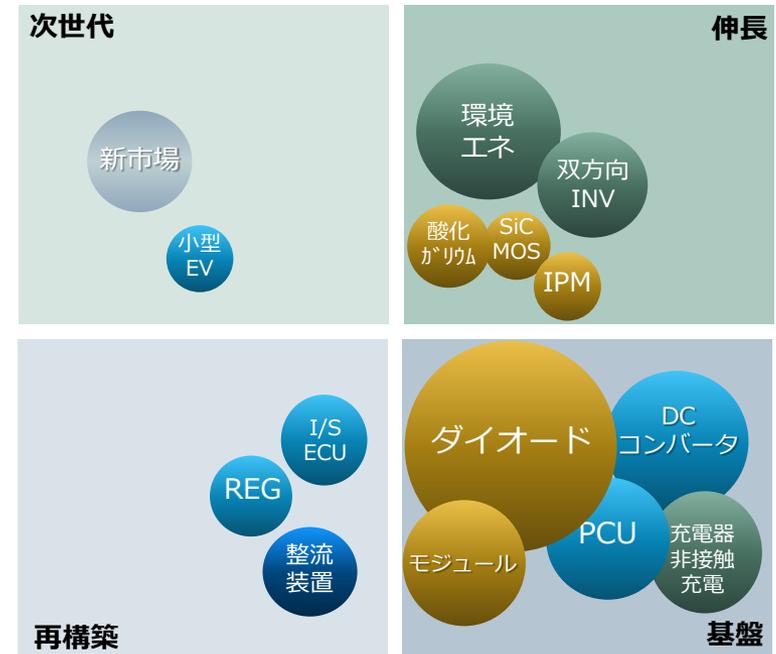
脱炭素化に向けたイノベーションを追求する

製品ポートフォリオ（イメージ）

現在



10年後



- 伸長事業：** 当社の成長を推進する。積極投資を行い高付加価値製品を市場へ投入。
- 基盤事業：** 競争力と市場実績を武器に優位性確保。
- 次世代事業：** 将来を見据え、技術が活かせる分野にリソースを配分。
- 再構築事業：** 成長性と収益性を分析し、戦略を再構築する。

第16次中期経営計画

第16次中期経営方針

長期ビジョンの実現に向けた基盤づくり

稼ぐ体質づくり
「安くつくる仕組み」



伸長事業拡大の布石
「特長ある製品開発」
「市場投入のスピードアップ」

温室効果ガス排出量削減分野へのリソース配分

安く作る
仕組み

R&D
マーケティング

M&A
アライアンス

高品質
安定供給

ブラン
ディング

資本効率の
向上

ESG経営の
高度化

全社的なデジタルトランスフォーメーション (DX) 推進

安くつくる仕組み（設計・調達・生産・販売）



R&D、マーケティング



M&A、アライアンス



高品質、安定供給



ブランディング

オンライン活用でBtoBブランディング展開

環境配慮型製品の積極発信

資本効率の向上

株主資本コストを意識した経営

ROE
2024年度目標
8.3%

ROA
2024年度目標
3.5%

事業別に資産効率を追求

ESG経営の高度化



新電元グループ
SDGsマテリアリティ

環境ビジョン2050の推進

人財マネジメントの推進

コーポレートガバナンスの
向上

環境ビジョン2050

次世代へつながる豊かな地球環境こそが価値ある未来と考え、
持続可能性を追求し、「脱炭素社会」「循環型社会」「自然共生社会」の実現に貢献します。

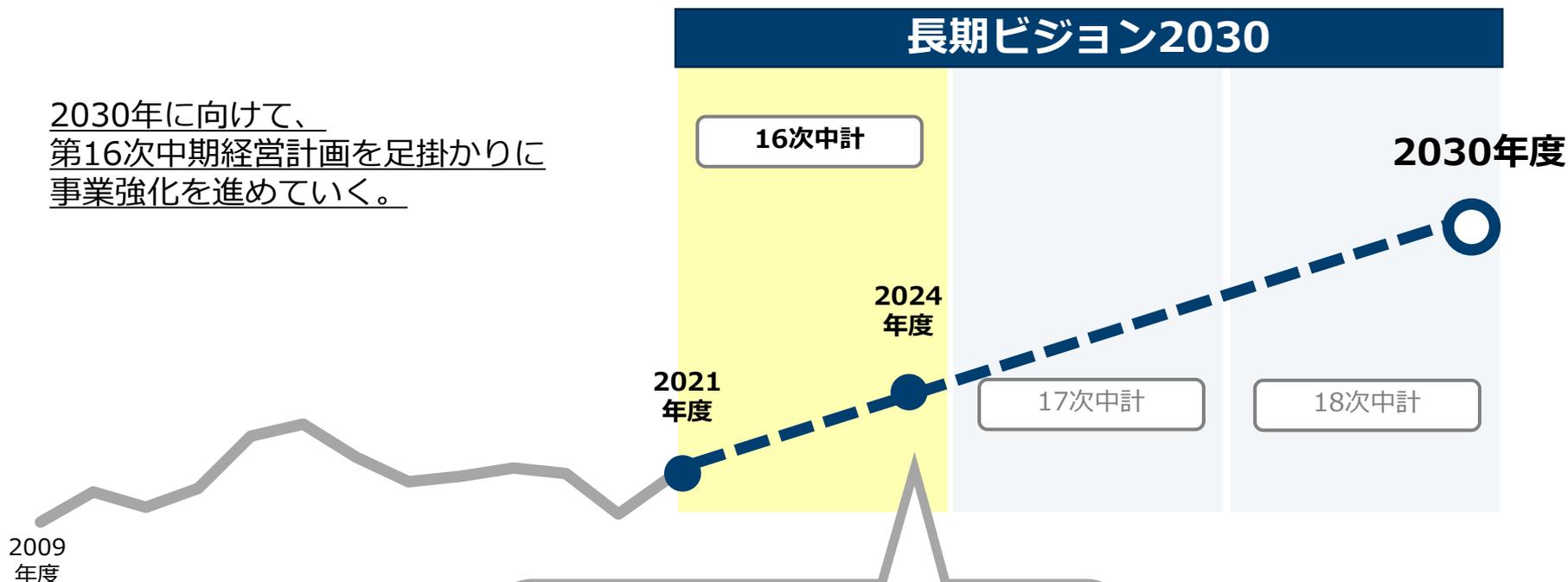
《脱炭素社会への貢献》
バリューチェーン全体を通じて
カーボンニュートラルを目指します

《循環型社会への貢献》
資源の有効活用と環境配慮型製品の
両輪で環境負荷の最小化を目指します

《自然共生社会への貢献》
生物多様性の保全活動を継続的に強化し
環境負荷の最小化を目指します

持続的な成長を図り、企業価値の向上へ

2030年に向けて、
第16次中期経営計画を足掛かりに
事業強化を進めていく。



16次中計最終年度目標

売上高	1,180 億円
営業利益率	6.6%
ROE	8.3%
ROA	3.5%